2026年11月13日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ホ ー プ
代 表 者 名 代表取締役社長ＣＥＯ 時津孝康
（コード番号：6195 東証グロース・福証 Q-Board）
問 合 せ 先 専務取締役ＣＦＯ 大島研介
(E-mail：ir@zaigenkakuho.com)

2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2026年10月29日に公表いたしました2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績予想と、本日公表の実績値との間に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．2027 年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異（2026 年４月１日～2026 年９月 30 日）

	売上高	営業利益	のれん償却等控除前営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 1,547	百万円 △31	百万円 △23	百万円 △32	百万円 △3	円 銭 △0.23
実績値（B）	1,547	△31	△23	△32	12	0.93
増減額（B-A）	0	0	0	0	15	
増減率（%）	0.0	－	－	－	－	
（ご参考）前期実績（2026年３月期第２四半期）	1,554	97	104	101	40	2.65

（注）のれん償却等控除前営業利益は、営業利益にのれん償却額及び株式報酬費用を加算して算出しております。なお、2026 年３月期まで開示しておりました「のれん償却前営業利益」は、2027 年３月期より調整対象項目を拡充したことに伴い、「のれん償却等控除前営業利益」に名称を変更しております。

２．差異の理由

売上高、営業利益、のれん償却等控除前営業利益及び経常利益は、2026年10月29日に公表いたしました予想値と同水準となりました。

一方、親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、2026年10月29日に公表した連結業績予想において、連結子会社に生じた税務上の欠損金に係る繰延税金資産について、その一部のみの回収可能性を見込んでおりました。その後、当該子会社の将来の課税所得の見積りを精査した結果、全額について回収可能性があると判断し、繰延税金資産を追加で計上いたしました。これに伴い法人税等調整額（益）が発生し、税金費用が減少したことで、親会社株主に帰属する中間純利益が前回予想を上回りました。

なお、2027年３月期の通期連結業績予想に変更はありません。

以 上